



県内では、嘔吐や下痢の複数の報告があがっています。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は主に冬場に流行しますが、一年を通して発生します。通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1か月程度、便中にウイルスの排泄が続くこともあるため注意が必要です。

感染性胃腸炎



「ウイルス性胃腸炎」「嘔吐下痢」「お腹にくる風邪」などと、言われることもあります。吐いたり、便がゆるくなったり、熱が出たりします。3つの症状がすべてそろうこともあれば1つしかでないこともあります。原因となるウイルスの種類によって、とても感染力が強かったり、けいれんを起こしやすかったりするので、軽く考えずに大事に見てあげましょう。

もしかかってしまったら・・・脱水にならないようこまめに水分補給をし、おしりのケアも忘れずに。



のどの渇きに任せてぐいぐい飲むとよけいに吐き気が強くなります。さかずき一杯位ずつ何回かに分けて飲ませてあげましょう。牛乳・乳製品・柑橘類・炭酸飲料は、吐き気を誘うので避けましょう。

☆ノロウイルスにはアルコール消毒では効果がないといわれています。手洗いの時、特に帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。

便や嘔吐物を処理する時は自身が感染しないよう十分に注意しましょう。

<消毒液の作り方>

市販の塩素系漂白剤（ハイター・ブリーチ等）を薄めて使用します。「ワイドハイター」など、色柄物にも安心と表示されているものは消毒の効果がありませんのでご注意ください。

2ℓのペットボトルに対し、40mlの漂白剤原液（ペットボトルのふたなら8杯）を入れ、水道水をいっぱいまで足します。嘔吐物で汚れた食器・衣類は嘔吐物を拭き取った後、この液に10分以上つけ込みます。洗濯は他のものと分けて最後に洗いましょう。処理の時には手袋・マスクも着用し換気しながら行いましょう。色落ちが心配なものには、スチームアイロンや熱湯など85℃以上で1分以上消毒すれば代用が可能です。

